

《8月7日(月) 22:00～24:00放送》

被爆者の話を聴き続けた若者の思いを考える

Canvas特別編～追悼 富恵洋次郎「最期の言葉」

今年7月3日、37歳の若さで亡くなったバー・スワロウテイルのバーテンダー富恵洋次郎さん。2006年から毎月6日に計140回もの「原爆語り部～被爆体験者の証言」イベントを行ってきました。富恵さんがどんな人なのか、どんな思いで語り部の会を企画し続けてきたのか、友人や周囲の人に残したかったものは何なのか。

番組では、3年前に2時間のラジオ番組のパーソナリティを務めた時の富恵さんの肉声や、彼を支え彼に支えられた仲間たちの言葉から考えていきました。

富恵さんは、原爆の被害を受けそれでも生きてきた被爆者のみなさんの話を聴くことで、「自分たちも頑張ろうや」って思ってもらいたい、、、という気持ちだったのではないだろうか。

この番組で、富恵さんの思いを少しでも届けることができたのではないかと思います。



■パーソナリティは、2014年のCanvasでもアシスタントを務めた岩竹香織。ゲストは幼なじみで親友の木下直樹さんと、語り部の会を引き継いだミュージシャンのHIPPIYさん。



■7月3日、37歳の若さで亡くなった富恵洋次郎さん。